

# 2018 年度 地質標本館 夏のイベント

兼子尚知<sup>1)</sup>・利光誠一<sup>1)</sup>・酒井 彰<sup>1)</sup>・常木俊宏<sup>1)</sup>・畑 香緒里<sup>1)</sup>・  
谷島清一<sup>1)</sup>・朝川暢子<sup>1)</sup>・川鈴木 宏<sup>2)</sup>・奥山康子<sup>3)</sup>・星野美保子<sup>3)</sup>・  
辻野 匠<sup>4)</sup>・坂野靖行<sup>4)</sup>・長森英明<sup>4)</sup>・川邊禎久<sup>5)</sup>・矢部 淳<sup>6)</sup>

地質標本館では、毎年8月下旬にふたつのイベントを開催しています。今年度も下記の通り実施しました。

- ・8月24日(金)地質標本館「夏休み化石クリーニング体験教室2018」
- ・8月25日(土)地質標本館「地球なんでも相談」

「夏休み化石クリーニング体験教室2018」は、栃木県那須塩原市産の植物化石原石を参加者自らがハンマーとタガネで割って、出てきた木の葉化石のクリーニング(被っている岩石の除去作業)を行うハンズオンイベントです。さらに、化石の鑑定を自分である程度までできるよう、講師が解説を行う教室形式となっています。今回は、予約申し込みされた23名のみなさまが参加してくださり、

3回に分けて各1時間40分で実施しました。参加者はまず、約30万年前に塩原にあった湖でどのように木の葉が化石になったか、木の葉化石から何がわかるのか、化石原石の割り方とクリーニングのやり方のレクチャーを受けます。いざ、原石を割ると次々と木の葉化石が現れ、丁寧にクリーニングを進めました。この時、参加者の作業のお手伝いをするのが、地質標本館で博物館実習を受講している大学生のみなさんです。

木の葉化石がきれいに見えてきたら、講師が鑑定のコツを解説します。今年度は、地質情報研究部門の辻野と国立科学博物館の矢部が講師を務めました。化石鑑定の講師が二人体制になったので、参加者は時間をかけて納得のゆくまで鑑定を行うことができました。自分でクリーニングして、鑑定した木の葉化石は、参加者のみなさまそれぞれ



写真1 博物館実習生の指導で、小型ハンマーとタガネを使って、木の葉化石の原石を割っているところ。

- 1) 産総研 地質調査総合センター 地質情報基盤センター
- 2) 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 研究業務推進室(元 地質調査総合センター 地質情報基盤センター)
- 3) 産総研 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門
- 4) 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門
- 5) 産総研 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門
- 6) 国立科学博物館

キーワード：地質標本館、体験学習、化石クリーニング、塩原、木の葉化石、相談会、標本鑑定



写真2 持ち込まれた標本を鑑定している様子。

にお持ち帰りいただきました。

「地球何でも相談」は、岩石・鉱物・化石に関する、予約不要の相談会です。来館者のみなさまが持ち込んだ岩石などの標本鑑定がメインで、地質学に関する質問疑問に、地質調査総合センターの専門の研究者がその場で回答します。今年度は39組の参加がありました。内訳は、鉱物が13件69試料、岩石が21件130試料、化石が7件41試料、展示物に関する質問が1件でした。

これらの標本は、参加者のみなさんが夏休みの旅行先で採取してきたものが多く、各地の石が持ち込まれるため鑑定に時間がかかります。昨年までは持ち込み数に制限を設けていなかったため1件あたりの相談時間が長くなりがちで、お待ちいただく時間も長いという反省がありました。今年は事前に標本数を10個までとお願いしていたところ、全体の待ち時間が短くなり、スムーズに相談が進みました。

「化石クリーニング体験教室」と「地球何でも相談」は、ともに夏休みの自由研究課題のお手伝いを兼ねています。参加して下さったみなさんが、お友だちや先生に、地質

標本館での体験を語ってくれることでしょう。

「地球何でも相談」の日は、地質標本館ホールの一角でサブイベントとして化石折り紙、化石粘土模型作成体験を実施しました。これらのコーナーの運営は、博物館実習の大学生のみなさんに担当してもらいました。実習生達は、来館者のみなさまへの説明・指導を通して、最前線で実習を行うことができました。これは、化石クリーニングの指導と共に、将来のサイエンスコミュニケーター達にとって、よい経験となったことでしょう。

なお、「地球何でも相談」にはジオネットワークつくばから、ジオマイスター1名の参加協力がありました。記してお礼申し上げます。

---

KANEKO Naotomo, TOSHIMITSU Seichi, SAKAI Akira, TSUNEKI Toshihiro, HATA Kaori, YAJIMA Seiichi, ASAKAWA Nobuko, KAWASUZUKI Hiroshi, OKUYAMA Yasuko, HOSHINO Mihoko, TUZINO Taqumi, BANNO Yasuyuki, NAGAMORI Hideaki, KAWANABE Yoshihisa and YABE Atsushi (2018) Summer events of Geological Museum in 2018FY.

---

(受付:2018年10月29日)